

# チヨダ MAG+ボード

磁石が付いて耐衝撃性がある石膏ボード

## 標準施工仕様書 (木製下地)

2022年10月



**チヨダウーテ株式会社**

## 目次

---

この「標準施工仕様書」は、必ず施工前に注意深く読み、よくご理解ください。  
この「標準施工仕様書」は、この施工全般にわたって、いつでも確認できるように保管しておいてください。

1. 総則
2. 安全対策
3. ボードの運搬、保管
4. 商品ラインナップ
5. 施工要領
6. 注意事項

## 1. 総則

### 1-1 適用範囲

この標準施工仕様書は、建築物の内装の壁にチヨダ MAG+ボードを使用する場合について適用する。

## 2. 安全対策

- ・ チヨダ MAG+ボードを施工する際の切断作業では集塵などに留意し、集塵丸鋸を使用する。
- ・ やすり掛け等の作業で発生する防塵に対しては、防塵マスクや安全メガネの着用を必ず行うこと。

## 3. ボードの運搬、保管

### 3-1 運搬・搬入

- ・ チヨダ MAG+ボードの搬入は事前に検討された搬入計画に基づき、管理担当者に指示を受ける。
- ・ 荷卸しや持ち運びの際は、角や端部に損傷を与えないように注意する。
- ・ 傷防止に使用している保護シートは滑りやすいため、荷崩れに気を付ける。

### 3-2 保管

- ・ 荷崩れ、角欠け、反り等が発生しないように平積みとする。また、製品 1 山の高さは安全のため 1m 以下とし、2 段山積みはしないこと。
- ・ 保管の際はパレット、りんぎ等を使用し、防水シート等で雨や水にあたらぬように保護すること。

## 4. 商品ラインナップ

商品名	チヨダ MAG+ボード 12.9	チヨダ MAG+ボード 15.4	チヨダ MAG+ボード タイプ V12.9
下地面材	GB-R12.5mm ベベル	GB-R15mm ベベル	GB-F12.5 タイプ V ベベル
不燃認定番号	NM-8619	NM-8619	NM-8615
寸法	910mm×1,820mm		
着磁体	特殊磁性材		
寸法	898mm×1,817mm		
厚さ	約 12.9mm	約 15.4mm	約 12.9mm
重量 (枚)	約 19kg	約 22kg	約 21kg

## 5. 施工要領

### 5-1 材料

ボードの下地は原則木軸とし、後述の下地に合った当社専用ビス「チヨダMAG+ボードビス(木下地)」または推奨ねじを使用する。

### 5-2 切断加工

切断加工は、防塵丸ノコに万能チップソーやサイディング用等の刃<sup>※</sup>を取り付けて行う。

**図1のように磁性面を下向きして切断すること。コンセントボックスなどの開口部を設ける場合も磁性面を下向き丸ノコで切断する。**

エッジ部のバリはやすりやサンダーなどで取り除き、切り粉は十分払い落とす（切り粉が残った状態で仕上げを行なった場合、使用環境によってはサビが生じる場合があります）。

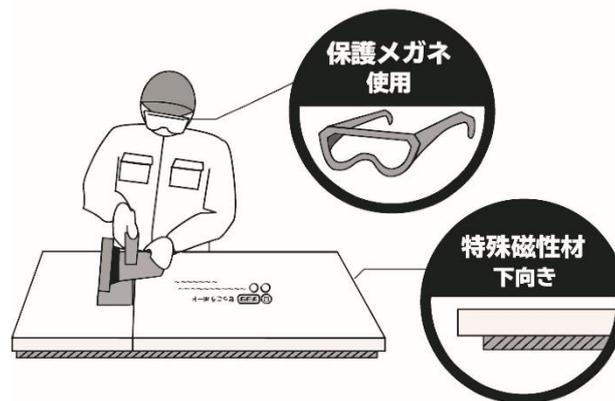


図1

※切断加工に際しては、**防塵マスク、保護メガネ、手袋**等の保護具の着用を必ず行うこと。

※チヨダMAG+ボードを切り欠いた場合は、その特殊磁性材の切断面に、**錆止め**を塗布する。

#### 【推奨錆止め】

- ・ニッペホームプロダクツ（株） 水性速乾さび止め
- ・（株）BAN-ZI サビキラーカラー ホワイト N-93
- ・ヤヨイ化学工業（株） ビスタークリア

※刃の種類、使い方、使用時間によって切れ味が悪くなったり、刃が欠ける場合があります。

### 5-3 施工法

木製下地で下地を建て込み、チヨダMAG+ボードを推奨ねじなどで下地に留め付ける。

チヨダMAG+ボードの目地及び他部材との取り合いの処理をパテなどで行う。

必要に応じて、壁紙やクロスや塗装などで仕上げを行う。

■ 壁-木製下地

- (1) 木製下地材料は JAS（日本農林規格）製品又はこれに準じるものを使用する。
- (2) 間柱及び胴縁の間隔は 455mm 以下とする。
- (3) ボードの取付けは破損を防ぐため、図 2 ように**磁性材周辺部の端部から 15mm 以上離れた位置に、**ねじの頭がボード面（つら）から 0.2~0.5mm 程度沈むぐらいまで十分に留付ける。**当社専用ビス「チヨダMAG+ボードビス（木下地）」**または**41mm 以上の推奨ねじ（図 3）**を使用する。  
これよりも短いねじを用いて留付ける場合、ねじの頭がボード面（つら）に対して十分に沈まず空回りする場合がありますので、注意してください。



図 2

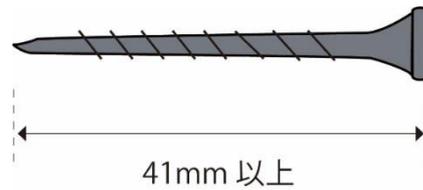


図 3

※留付け間隔は表-1 の通りとする。

【当社専用ビス】 エア-ねじ打機用

(mm)

チヨダMAG+ボードビス(木下地)	頭径	全長	ねじ部長さ	ねじ径
100本/巻 (1巻/箱)	8.0	41	34.5	3.9

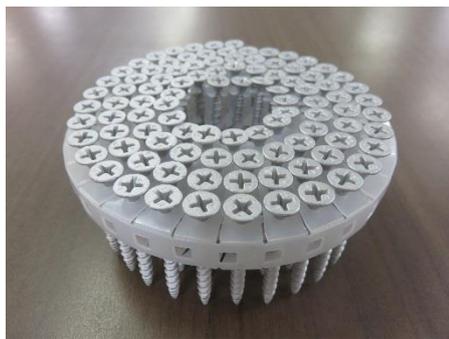


図 4



図 5

3×6 1枚当たり ねじ使用本数 (取付け間隔)	外周部 150mm、中間部 200mm	約 44 本
	外周部 200mm、中間部 300mm	約 33 本

【推奨ねじ】 エア-ねじ打機用

- ・ラップ頭コースねじラスパート PRC3941 (KN フジニッテイ社製)
- ・ロール連結ねじ MRB-3941 (KT3941) (KN フジニッテイ社製)

表-1 留付け間隔

下地	部位	留付け間隔(mm)	
		周辺部	中間部
木製下地	壁	200	300

公共建築工事標準仕様書 (建築工事編)

※防耐火、遮音、耐力壁の大臣認定構造、告示仕様及び省令準耐火構造の場合は、その仕様に準じて施工してください。

- 壁-鋼製下地 別途、チヨダ MAG+ボード標準施工仕様書 (鋼製下地) をご覧ください。

※下地によって、ねじ頭が残る (頭浮き) 場合は、インパクトドライバーで増し締めしてください。

※ねじの留付け時に鋼板のカエリが生じた時はニッパー等でカエリを除去し、鉄ヤスリで仕上げてください。

※当社専用ビス「チヨダMAG+ボードビス (木下地)」または推奨ねじを用いない場合、打ち込み時にねじ頭がボードツラに対して十分に沈まず、空回りする可能性があります。

※当社専用ビス「チヨダMAG+ボードビス (木下地)」または推奨ねじを用いた場合でも、木下地の材質が柔らかいもの、節目などに打ち込んだ場合は、ねじが空回りしたり、折れたりする場合があります。

5-4 目地処理

目地部の処理前、目地の清掃を行い、粉塵やゴミを除去しておく。

ボード同士の目地は、特殊磁性材を削るような面取りは行わず、ねじ頭を含めボード壁面全体が平滑になるようにジョイントコンパウンドを用いてパテ処理する。

チヨダMAG+ボードの周辺部は、不陸が生じないようにジョイントコンパウンドで幅 **200mm 以上パテ処理する**。(図6 (厚さ 12.9mm 品の例です。厚さ 15.4mm 品についても厚みに準じて施工ください) と図7)

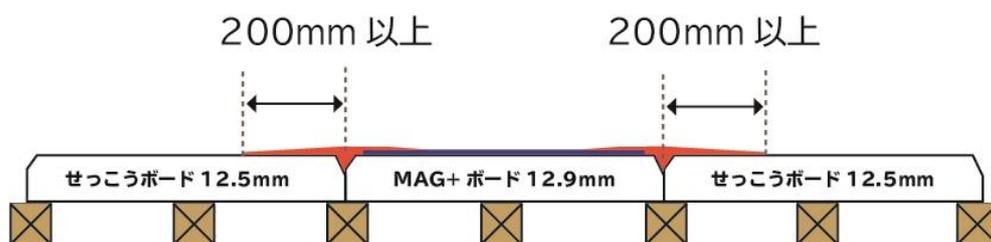


図6

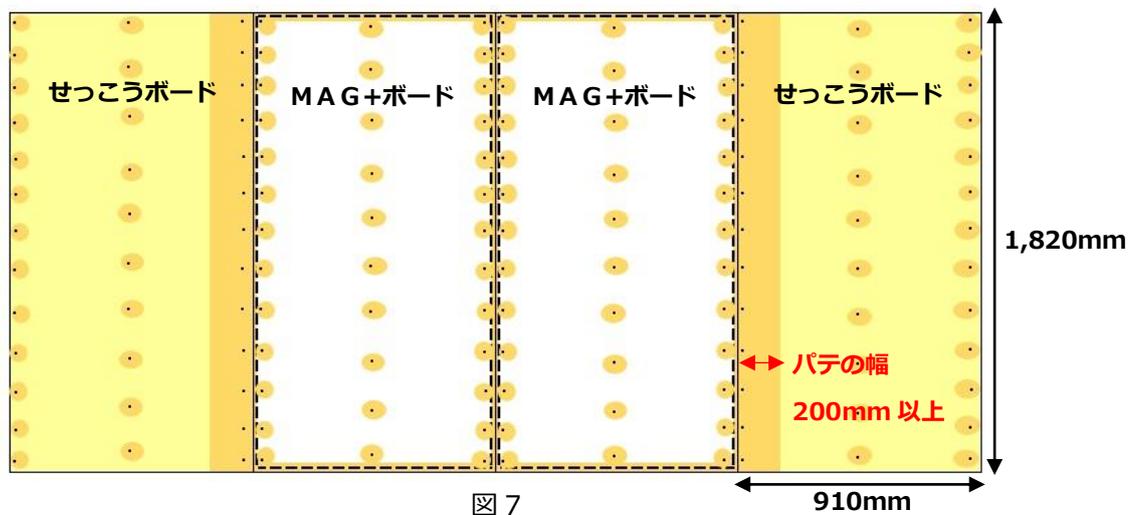


図7

### 5-5 表面仕上げ

壁紙やクロスや塗装などで仕上げを行う。

## 6. 注意事項

- ・ チヨダMAG+ボードは、温泉を含む浴室や脱衣所などの高温多湿な場所、押入の中など湿気がこもる場所、塩害が懸念される場所、天井及び外部には使用できません。
- ・ 磁石の保持力は磁石の種類、大きさや壁紙の厚さ、柄（凹凸）、表面の滑り具合により変わります。
- ・ 運搬中及び現場搬入後の保管時は、平らな場所に敷板・パレット等を用いてきちんと平置きして下さい。壁に立て掛けるなどした場合、ボードが反る場合がありますのでご注意ください。
- ・ 残材処理・解体の際、ヘラなどで特殊磁性材と石膏ボードを分離してリサイクルしてください。